

仕様書

NEDOイノベーション推進部

1. 件名

「官民による若手研究者発掘支援事業における研究開発テーマの実用化に向けた
マッチング支援・情報発信業務」

2. 目的

本事業では、大学、公的研究機関等^{*1}からの研究開発提案とそれに対する企業の関心事項（実用化検討書^{*2}）を基に、2030年頃の実用化に向けた研究開発の方向性、可能性、研究課題の抽出等を行うことにより、「官民による若手研究者発掘支援事業」（別紙 基本計画参照）における助成事業者の選定に資するとともに、助成事業者と企業とのビジネスマッチングの機会の創出を目的とします。

3. 業務内容

「官民による若手研究者発掘支援事業」では、目的指向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘、支援することにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、若手研究者と企業との共同研究等の形成を促進し、我が国における新産業の創出に貢献することを目的として、産業技術分野及びエネルギー・環境分野の研究開発を助成します。

本事業では、上記、助成事業に係る大学、公的研究機関等（以下「大学等」という。）と企業が共同研究等を実施するためのマッチング支援を行います。具体的には、大学等からの研究開発提案に対して、企業からの関心事項を引き出すためのマッチングイベント^{*3}の開催、企業からの関心事項の取りまとめ、大学等の研究成果を関心企業へフィードバック、大学等の研究成果に対する企業へのヒアリング等により、助成事業者である大学等と企業との共同研究を進めるための機会の提供を行います。

これらの業務の実施にあつては、各地域における大学等と企業との連携、情報交換を促進するため、全国を6ブロック^{*4}（別紙参照）に分け、各ブロックにおいて下記の業務を実施します。なお、事業の実施にあつては、適宜NEDOと相談の上進めることとします。

（1）実施項目

① マッチングイベント業務

大学等有する研究開発シーズを広く企業に知ってもらうことで、大学等と企業との共同研究につながる機会の創出を行う。

a. マッチングイベントの開催

- i. 大学等からの研究開発提案（NEDOから別途情報を提供）を基にマッチングイベントを開催。

（各ブロックにおいて1回/年程度）計：6回/年程度

- ii. 各ブロックにおける大学等有する研究開発シーズを広く企業に周知するためのマッチングイベントを開催。（開催場所については、NEDOと別途相談のこと。）

ア 関東ブロック：5回/年程度

イ 中部、近畿ブロック：各3回/年程度

ウ その他のブロック：各1回/年程度

計：14回/年程度

その他、関東、中部、近畿の3ブロックにおいては、それぞれのブロックにおける国際イベント等を活用したイベントを上記以外に1回/年以上行う。

※当該イベントは、各ブロック内の大学等の研究者から企業に向けた研究開発シーズの発表により大学等と企業とが意見交換できる場とし、各主催ブロックにおける内容については、他のブロックにおける企業でも容易に視聴できるよう、インターネット等を駆使した動画配信等の工夫を行うこと。

b. イベントを活用した情報収集

上記イベントを活用するなどにより、企業が大学等に求める共同研究の動向の取りまとめを行うとともに、「官民による若手研究者発掘支援事業」に係る制度、公募情報等を大学等及び企業へ周知すること。

② マッチング支援業務

大学等有する研究開発シーズに対する企業の関心事項の取りまとめを行い、大学等と企業との共同研究に向けた橋渡しを行う。

a. 企業の関心事項の取りまとめ

NEDOが提示する大学等からの研究開発提案を広く企業に紹介し、それに対する企業の関心事項（実用化検討書）の徴取、取りまとめを行うこと。（5～6月中に実施予定）

※企業からの関心事項（実用化検討書）の徴取にあつては、NEDOが提示する大学等からの研究開発提案と同数以上の実用化検討書の徴取を目的とする。

b. 実用化検討書を提出した企業との連絡調整業務

NEDOが「官民による若手研究者発掘支援事業」において助成を行う大学等へ実用化検討書の提出を行った企業に対し、NEDOからの情報を提供するとともに、当該情報に対する要望事項などの徴取を行うこと。（4回/年程度）

c. 伴走型の研究者フォローアップ支援

大学等の研究開発提案に関心のある企業と大学等の連携、情報交換を促進し、共同研究に向けた助言・提言を行うこと。

③ その他

a. 情報の共有

各ブロック内の大学等、企業からの情報は、適宜、NEDOが指定するその他ブロック内の事業者及び有識者等と情報を共有すること。

b. 人材の確保

企業と大学等の共同研究を推進するため、企業、大学等と適切に意見交換（コンサルティング等）ができる専門員をおくこと。

c. NEDOが実施する会議、イベント等への参加

NEDOが川崎及び各ブロックにおいて実施する会議、イベント等へ参加すること。（2回/年 程度）

(2) 報告書の取りまとめ

マッチングイベント等の結果、収集した情報（大学等の研究開発シーズ、企業の関心事項等）を成果物として報告書（和文）の形に取りまとめる。

報告書については、調査結果のエビデンスを示す参考資料も別途提出すること。

4. 業務実施期間

NEDOが指定する日から2022年3月31日

2ヶ年の事業計画とするが、契約は単年度毎とする。

5. 予算額

総額：40,000万円（各年度20,000万円程度）を上限とします。

また、ブロック単位での提案の場合、各ブロックにおいて想定している予算額は以下のとおり（各ブロックにおける予算額の中には、各ブロック内で開催するイベントの費用を含む）。

- ・北海道・東北ブロック：4,000万円（各年度2,000万円程度）
- ・関東ブロック：14,000万円（各年度7,000万円程度）
- ・中部ブロック：6,000万円（各年度3,000万円程度）
- ・近畿ブロック：8,000万円（各年度4,000万円程度）
- ・中国・四国ブロック：4,000万円（各年度2,000万円程度）
- ・九州・沖縄ブロック：4,000万円（各年度2,000万円程度）

6. 報告書

提出期限：2022年3月31日

提出部数：電子媒体CD-R（PDFファイル形式）1枚

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、当該事業における成果の報告を依頼することがある。

8. その他

本仕様書に定める事項については、随時NEDOと調整の上実施する。また、本仕様書に定めなき事項については、NEDOと実施者が協議の上で決定することとする。

別紙（用語の解説）

※1：大学、公的研究機関等

国公立研究機関、国立大学法人、公立大学法人、高等専門学校、独立行政法人及びこれらに準ずる機関。

※2：実用化検討書

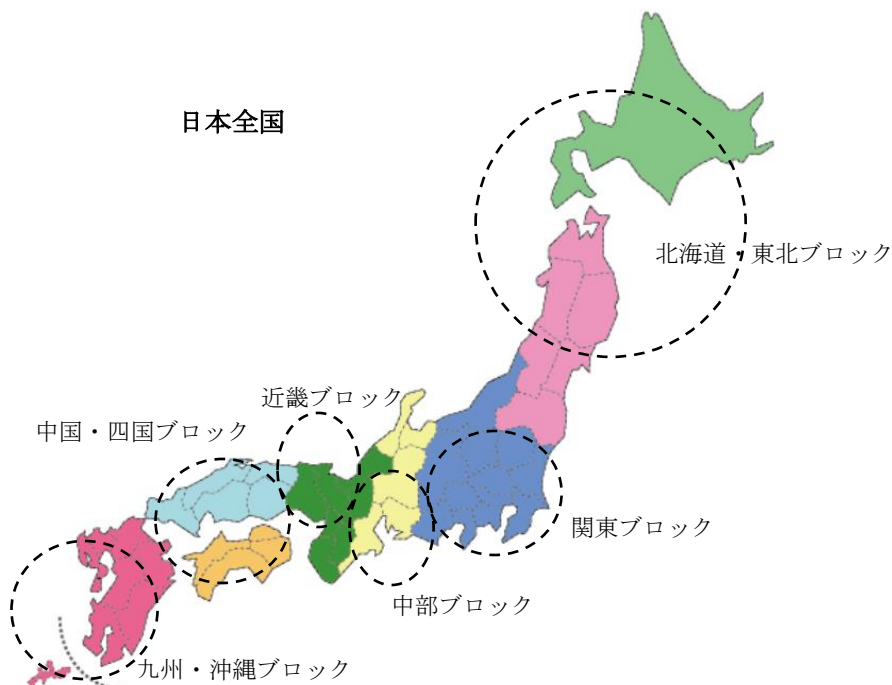
大学等からの研究開発テーマ（研究開発提案）に対し、企業が自社開発等に役立つ・期待する事項等の関心を表す書面。

※3：マッチングイベント

大学等の若手研究者が有する研究開発テーマを企業が聴講することで、自社に役立つ研究開発テーマを発掘し、研究開発等へつなげる場。

※4：全国6ブロック

北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄を想定。



北海道

東北(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)

関東(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県)

中部(富山県、石川県、岐阜県、愛知県、三重県)

関西(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)

中国(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)

四国(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)

九州(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)